

平成28年2月23日

答申第675号

#### 1 再検討の求めに至る経緯

視聴者より、「① 課長、部長等現在内部で使われている役職名すべて、② 平成26年度の各モデル賃金（副部長職含む）、③ 26年度職員給与の平均定昇金額」がわかる文書の開示の求めがあった。

NHKは、①および③は開示したが、②は文書が存在しないため開示することができないとした。

これに対して、視聴者から再検討の求めがあった。

#### 2 NHKの見解の要旨

再検討の求めの文書は存在せず開示することができない。

なお、企業や産業間の賃金比較においてモデル賃金は、学校卒業後直ちに採用され標準的な昇進・昇給をすることで設定される賃金であり、一般的に大卒30歳または35歳のモデル賃金を給与水準の指標としているため、NHKも大卒30歳および35歳のモデル給与を設定しているが、それ以外のモデル給与の設定は行っていない。

#### 3 審議委員会の判断

再検討の求めの文書は存在しないと認められ、不開示としたNHKの取り扱いは妥当である。

#### 4 審議の経過

平成28年2月23日（第234回審議委員会）

第689号諮問、審議、答申